



シリーズ

赤ちゃん
うまれて

えがったなあ

▼名前の由来は何ですか？

周りを明るくし、希望の光となるような子に育ててほしいと願い、「ひかり」という名前にしました。長女の椿紗には生まれた季節の花の漢字が入るので、同じく花の漢字を入れ、「光莉」と名付けました。(新幹線つながりというわけではないです(笑))

▼舟形町での育児はどうですか？

様々な子育て支援があり、育児はしやすいと感じています。保健師さんや助産師さんが相談に乗ってくださるので、とても心強いです。また、保育料の無償化や用品等の支給があります。

▼舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

広い公園があり、綺麗に整備されているので、安心して子供を遊ばせられる所が良いと思います。保育園や支援センターへ行くまでの道路(県道56号から入る道や本町通りから入る道)が狭いので、広くなると助かります。

▼舟形町に望むことはありますか？

舟形町で子育てしながらでも働きやすい環境での雇用がもっと増えるといいなと思います。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町議会事務局 ☎32-0030



今回は、富田第2の

齋藤 健さん・智恵利さんの

お子さんの椿紗ちゃん(3才)と、
光莉ちゃん(9カ月)です。

皆さんよろしくお祈りします。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見やご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いしています。

私は結婚を機に舟形町に移り住みました。

10年が経ち、今は小学生と保育園児の2人を育てています。舟形町は保育施設や公園が充実しており、夏は川で水浴びや噴水遊び、バーベキューを楽しむなど、自然の中で子どもたちがのびのび育つ姿に癒やされています。一方で、冬の通学路の安全が気になります。雪で道幅が狭くなるため、除雪や歩道の整備が進めば安心できます。

親としては、地域との関わりが多いのも魅力に感じています。例えば、スポーツフェスティバルや縄跳び大会など、住民同士が力を合わせて取り組むイベントは子どもたちに良い影響を与えていると思います。「お祭り」や「おさいとう」などの伝統行事を通して地域の絆が深まり、子どもたちにもその温かさが伝わっています。子どもたちが「ここで育って良かった」と思える町であり続けるようお願い、若者が活躍できる仕事や交流の場が増えることを期待しています。

押切 真莉子さん(長者原)

(議会より)

子どもたちが冬期間安全で安心して通行できるよう通学路の除雪や消雪設備の修復を働きかけていきます。

編集後記

今年の雪は、昨年同様少雪傾向でありましたが、2月に入って一気に大雪になり、大変な状況になりました。町民の皆様も雪片付けに苦労されたのではないのでしょうか。

4月に入り桜が咲く季節となり、昨年7月の豪雨災害で被災した箇所の復旧工事が本格的に始まります。一日でも早く完成する事を願っています。

議会だよりふながたは、モニターアンケートや町民からのご意見などを取り入れながら、町民の皆様に読んでもらえる紙面作りに取り組んでまいります。(小国 浩文 記)

発行責任者

議長 齋藤 好彦
議会広報常任委員会
委員長 荒澤 広光
副委員長 小国 浩文
委員 伊藤 欽一
委員 叶内 昌樹
委員 伊藤 廣好